

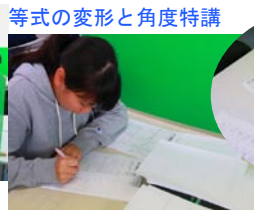
11/4日 学力C対策



11/11、12日は定期テスト対策の1000分特講、頑張りました！



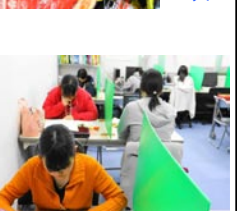
11/25 中3生の土曜特講
等式の変形と角度特講



いつも1000分特講に差し入れ、有り難うございます。



今月も住川さんの差入がこーんなにいっぱい！



中学生の1000分特講の時間に試験勉強の高校生
今年の高校生はしっかり勉強する人が多い！



朝の7時頃に、珍しい大きな二重の虹出てました。



2007年の卒業生がくれたサンスベリアに花が咲きました。透明の粒は蜜で舐めると甘い！



11/23 中3生の道コンとその時間帯、朝から夕方まで勉強の高校生。センタ試験間近！



テスト勉強をするため、楽しそうに夕食をとる後鳥さんと成田さん？



11/25 ベネッセ主催のスピーチコンテストで3位、6年の杏奈さん



今年高専を卒業した田村君が突然スーツ姿で現れた。本社人事部長の依頼で再来年卒業の学生をリクルートする為の打合せに来たそうです。



11/19 その岩淵君の家の車庫で今シーズン最後の焼肉です！



今年、高専の建築科を卒業し北電に就職した中村君が久々に。



14期生の恵ちゃんがボーイフレンドのマークと一緒に来てくれた。ドレスを初めて見に行きました。



11/5 6期生の岩淵君のオフロードのマークと一緒に来てくれた。ドレスを初めて見に行きました。



今シーズン最後の焼肉です！

★いよいよ12月、受験勉強本番！★
中学生も高校生も、定期テストがほぼ終わりました。1000分特講に参加した生徒の殆どの人は前回より点数、順位がアップしていました。16時間近くも問題を解くのですから当たり前なかもしれませんがね。
今日から12月、高校入試まで95日、センター試験までは43日となりました。学校では中3生は学力ABCの結果をふまえて三者面談が行われます。しかし本気で志望校を目指すなら、本当の入試勉強はこれから冬休みを含めた90日間なのです。
1日、5時間、冬休み中は9時間、90日間で450時間です。30年間、こうやって来ました。がんばった15の春が、18の春が人生を充実させるのです。覚悟を決めて向かう事です。諦めるのはまだ早いです、受験生の皆さん！

★新学習指導要領に向けた移行措置スタート★
裏面にあるように小学校の英語の授業が、18年度から小5、小6は50コマ、21年度からはそれぞれ70コマの正式な教科としての英語が始まります。国語力のない、読解力のない子供たちに必要性を感じない英語の授業はかなりの負担になるはず。習得すべき語彙が6000〜7000語で、ゆとり時代の中学校での単語数900語に近いものです。28日の新聞にも載っていたように全国学力テストの結果でも小・中学校とも全国平均を下回り、特に応用力に問題があることが判っています。
さらに小学校での教科としての英語は学校にとっても相当な負担になります。そして特に問題なのは、中学校へ入る前に英語嫌いを出す危険性です。中学校の英語が始まる前に格差がついている可能性があります。塾もどう対応すればいいのか...です！

★ブラック企業大賞2017ノミネート★
11月27日、ノミネートされた9社が発表された。2016年度の大賞は「電通」
・ノミネートの定義
・労働法やその他の法令に抵触し、またはその可能性があるグレーゾーンな条件での労働を、意図的、恣意的に従業員に強いている企業・パワーハラメントなどの暴力的強制を常套手段として従業員に強いる体質を持つ企業や法人、学校法人、社会福祉法人、官公庁や公営企業、医療機関なども含む
・ゼリア新薬工業株式会社・株式会社いなげや・パナソニック株式会社・新潟市民病院・日本放送協会(NHK)・株式会社引越社・大成建設株式会社、三信建設工業株式会社・大和ハウス工業株式会社
・ヤマト運輸株式会社
一流と言われる有名企業でも信用できませんね、要注意！

★志望校へ向けて面談と冬期講座★
12月、学校では進路についての三者面談が始まりますが、その前に塾でも面談を行います。入試までまだ90日あります。学力ABCの結果だけで志望校をあきらめる必要はありません。90日間で450時間を目標に受験勉強することで、志望校合格の可能性が高くなります。
しかし大事なことは進学先の高校ではありません、そこに向かってどう努力したのかです。ここで努力は将来必ず自分のためになります。楽をするのは簡単です。志望校を変えればよいのです。冬期講座、中3は4時間プラス何時間でも(最長9時間)できます。卒業生はそれをやってきました！

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金
								●冬期講座準備済み●							●中3土曜特講⑤							●中3土曜特講④						●中3土曜特講③		
								●冬期講座スタート●							●休塾													●休塾		
								●天皇誕生日																				●休塾		

12月の予定

2018年度から新学習指導要領の小学英語が先行実施されます

そこでカギを握るのは、英語が教科となる小5、小6でいかに学習内容を定着させるか？です。文部科学省の新テキスト「We Can！」が授業で使われます。英語に親しみやすいように従来の教材で重視していた「話す・聞く」力に加え、中学から本格化する「読む・書く」力も育てるとしています。

小5、6年の外国語活動は現在年間35コマが必修ですが、18、19年度は50コマ、英語が正式な教科になる20年度以降は年70コマに増えます。また、内容に関しては、文章の音読や書き写しなど、読み書きの要素を取り入れた。「過去形」や「動名詞」などの表現も学習します。

習得すべき語彙が600～700語にのぼります。子どもたちにとって英語は、学力差が大きくなることが予想されます。

小学校の間に、英語の学習内容を着実に定着させることができるかが、その後の中学校での学習を大きく左右することになるでしょう。



小5		小6	
テーマ	テーマ	テーマ	テーマ
WU1 あいさつと挨拶とアルファベットの文字を覚えよう	U5 できること	WU1 アルファベットと英語の書き方を覚えよう	L13 できることや覚えることについて話そう
WU2 あいさつと挨拶とアルファベットの文字を覚えよう	L15 できることについて伝え合おう (1)	WU2 あいさつと挨拶を覚えよう	U4 4のまとめでくわべてみよう①
WU3 天候の表現とアルファベットの発音を覚えよう	L16 できることについて伝え合おう (2)	WU3 自分と相手のことを伝える表現を覚えよう	U5 夏休みの思い出
WU4 天候の表現とアルファベットの発音を覚えよう	L17 できることについて伝え合おう (3)	WU4 自分と相手のことについて伝え合おう	L14 行った場所について話そう
U1 自己しょうがい	U6 行きたい場所	WU5 ものや場所、場所について話そう	L15 食べたいものや買いたいものについて話そう
L1 自己しょうがいをしよう	L18 行きたい場所について伝え合おう	WU6 自分と相手のことについて伝え合おう	L16 楽しんだことについて話そう
L2 好きなものについて伝え合おう (1)	L19 行きたい場所や行き方について伝え合おう	U1 自己しょうがい	U5 5のまとめでくわべてみよう①
L3 好きなものについて伝え合おう (2)	L20 行く場所や行き方について伝え合おう	L1 自己のことについて話そう	U6 オリジナル・パラリンピック
U2 ほしいもの・誕生日	U7 伝言と場所	L2 好きなものについて話そう	L17 好きなスポーツについて話そう
L4 誕生日について伝え合おう	L21 友達をさそおう	L3 誕生日について話そう	L18 見たい (しんじ) 題について話そう
L5 ほしいものについて伝え合おう	L22 伝言や場所について伝え合おう	L4 できることについて話そう	L19 好きな選手について話そう
L6 持っているものについて伝え合おう	L23 道をたずねたり案内をしたりしよう (1)	U1 1のまとめでくわべてみよう①	U6 6のまとめでくわべてみよう①
L7 誕生日にほしいものについて伝え合おう	L24 道をたずねたり案内をしたりしよう (2)	U2 日本へようこそ	U7 小学校生活・思い出・行事
U3 時間制・健康	U8 食べ物のとけい	L5 文化・行事について話そう	L20 一番の思い出について話そう
L8 曜日について伝え合おう	L25 ほしいものや数を伝え合おう	L6 食べ物のについて話そう	L21 自分の思い出について話そう
L9 時間制について伝え合おう (1)	L26 料理の注文をしたり注文を受けたりしよう	L7 行きたい場所について話そう	U4 4のまとめでくわべてみよう①
L10 時間制について伝え合おう (2)	L27 料理の値段を伝え合おう	U2 2のまとめでくわべてみよう①	U8 将来の夢・健康
L11 職業について伝え合おう	U9 人のしょうがい	U3 日本や世界で活躍する日本人	L22 なりたいものについて話そう
U4 一日の生活	L28 まわりの人がどんな人か伝え合おう	L8 自分が何をしたいか話そう	L23 なりたいものについて話そう
L12 時間について伝え合おう	L29 人の得意なことについて伝え合おう	L9 相手に何をしたいか話そう	U8 8のまとめでくわべてみよう①
L13 一日の生活について伝え合おう	L30 ヒーローについて伝え合おう	L10 人がどれくらい話そう	U9 9のまとめでくわべてみよう①
L14 家での子供について伝え合おう		U3 3のまとめでくわべてみよう①	L24 中学校でしたいことについて話そう
		U4 自分たちの町・地域	L25 楽しんでいる行事について話そう
		L11 学校の施設について話そう	U9 9のまとめでくわべてみよう①
		L12 自分がどんな人か話そう	

※ WU＝ウォームアップ、U＝ユニット、L＝レッスン (調)、U＝ユニットまとめ、L＝レッスンまとめ、L14 カリキュラムは変更される可能性があるため、あらかじめご了承ください。

「誰のための学校なのか」 頭髪黒染め強要

頭髪が生まれつき茶色なのに学校から黒く染めるよう強要されたとして、大阪府立高3年の女子生徒 (18) が府に損害賠償を求めた訴訟を巡る報道に関連し、学校での頭髪指導について読者から感想や意見が多く寄せられた。現役の高校生や、かつて子どもが指導を受けた保護者らの声もあった。一部を紹介し、頭髪指導のあり方について考えたい。

●修学旅行前に指導

埼玉県立高3年の女子生徒 (17) は昨年11月の修学旅行前に突然、進路指導担当の教諭から頭髪を黒く染めるか、短く切ってくるよう指導された。頭髪はくり毛色に近い茶色だが、母親と同じく生まれつきで、髪染めや脱色をしたことも、ヘアアイロンをあてたこともない。入学時に頭髪の色を登録する制度があるため、髪の色について担任に相談した際にも「問題ない」と言われていた。

にもかかわらず、進路指導担当の教諭は「旅行先で他校とのトラブルを避けるためだ。風紀を乱しているのだから、このままでは修学旅行に参加させない」と言い、再三呼び出しを受けて指導された。最後まで拒否したため修学旅行には地毛のまま参加できたが、教諭らから常に行動を監視され、楽しめなかったという。

「地毛なのに黒染めを強要されると、心までボロボロになる。かばってくれる友人や先生がいたので救われたが、当時は精神的にかなり追い詰められた。今回の報道で自分がされたことを鮮明に思い出し、悲しくなった」。女子生徒はこう訴える。

●日本特有の考え

「そもそも学校で毛染めを禁止しているのに、黒染めをさせるのか」。大阪府在住

の女性 (48) は、長女 (24) が府立高3年の時、軟式テニスの夏の大会前に部活動の顧問から黒染めを求められ、こう思ったのを覚えている。長女の頭髪は元々、日に当たると透けて茶色く見える程度だったという。

それでも、顧問からは「毛染めをするような子ではないと分かっているが、地域が目があるから」と黒染めを指導された。「染めてもいないのに、なぜ黒く染めないといけぬのか」。自分も長女も納得できなかったが、大会に出場できなくなるとは困ると考えて渋々従った。

黒染めして大会に出た長女は、髪から落ちた染料が黒い汗となって顔を流れた。「学校自体に悪い印象はないが、一律に頭髪は黒くないといけぬというのは日本特有の考え方ではないか。どこか釈然としない気持ちが残った」と振り返る。

●陳情書を提出

教員志望の男子大学生 (23) は岐阜県内の公立高3年の時、学校の頭髪指導で黒染めを強要される同級生がいることに疑問を覚えたのをきっかけに、頭髪指導を受けた同級生に聞き取り調査をした。今回の報道を受け、調査の結果を教えてくれた。

髪が茶色いと呼び出され、地毛だと説明すると切るように強要された▽入学時に登録すれば黒く染めないで済む「地毛登録」をしたのに2度も指導された▽茶色い地毛を自発的に黒く染めて自己防衛している。いずれも身体的特徴による差別で、人権侵害に該当すると考え、2014年3月に実情をまとめた陳情書を法務局と教育委員会に提出したという。

今は県外の教育大に在籍する男子大学生は「理不尽な頭髪指導はこれまでほとんど認識されず、気になっていた。今回の訴訟で明らかになったが、ようやくか、とも思う」と語る。来春から教師として教壇に立つ予定だが、教育の現場が実際にどうなっているのかは分からない。それでも、理不尽な頭髪指導はしたくない。「学校教育は誰のためにあるのか。それをもう一度しっかりと考えていきたい」

【岡崎英遠】

他に寄せられた意見 (抜粋)

髪の色、肌の色、宗教……みんなと一緒にじゃないとダメ。「違います」ってことは当たり前ではなく「届け」を出さないとダメ。「島国日本」はいつまでも変わらないのだとがっかりしている。＝大阪市住吉区の会社員女性 (45)

親の好みで子供の髪を染めて学校に行かせる時代。好き勝手しながら、進学や就職については丁寧な指導を要求する。そんな格好で入試や就職の面接にいかにせられるだろうか。地毛登録は当然の措置だと思う。＝広島市の男性 (54)

茶髪の子はその色がカッコよく見えると思っているかもしれないし、服装の規則を破る子は、彼女の美的感覚からスカートの丈をそうしているのかもしれない。我々大人は、自分たちの判断のみが正しいとするそのセンスこそをやぼつたいと反省し、態度を改めれば、学校はもっと自由でのびのびとしてくるはず。＝主婦 (70)

頭髪指導の問題点は、すぐに指導が作業と化して、摘発して矯正することが自己目的化してしまうことだ。「改善」が進むとちょっとした「乱れ」が目につき、余計に指導がエスカレートする。物事は効率よくシステムチックに行われるのが良い場合もあるが、教育や人間関係はそうあってはいけぬと思う。＝現任教諭

海外メディアも注目

学校での頭髪指導のあり方を巡っては、芸能人や作家、学者ら、さまざまな人たちがツイッターで意見を発信している。

元AKB48のメンバーで母親がフィリピン出身の秋元才加さんは、高校の時に地毛なのに染髪を疑われて黒く染めた経験を明かし「規則は大事だけど、大事なことはもっとあるはず」と投稿した。

作家で明治学院大教授の高橋源一郎さんも「そもそも髪をどんな色に染めたっていいじゃないか」と疑問を投げかけた。

脳科学者の茂木健一郎さんは「『黒染め』強要問題の延長線上には、新卒一括採用、就職活動における画一的なリクルートスーツと髪形、時代遅れの偏差値入試などの問題がある」と持論を展開し、「これらのマインドセット (思考様式) が日本の停滞の象徴であり原因」と指摘した。

海外メディアも注目し、英BBCや米タイム誌、中国の国営新華社通信などが「日本の多くの学校には髪の色、化粧、スカートの丈など外見について厳しい規則がある」と報じた。

大阪府教委は全府立高校を対象に、頭髪指導の現状把握のための調査を始めている。毎日新聞2017年11月27日 東京朝刊 教育の窓より

一方で「なんであんな黒いのが好きなんだ」と発言した山本幸三や麻生太郎、竹下亘等々、国際感覚も常識も持たない政治家ばかりの日本。英語教育の前にやらなければならないことが沢山あるのではないかと。21世紀になって17年も経つのに、人を外見で判断する教育界、言う事は先進国、やることは超後進国!